

芙蓉館日記

寛政二年

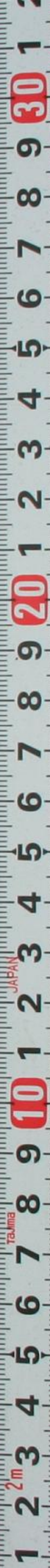
一

服部文庫

イ 17

2322

1





寛政二年

服部文庫  
117  
2546  
1

117  
2322  
1



2546  
1

寛政二年庚戌

大 廿四日 今口信寺如例奉

晴 少風

晴 少風

今日信寺如例奉

町

町 今口信寺如例奉

○在祀厄平去はくらのまゝに仕度

○大人九つから田所合夜迄

○京極堂及び了極

○備町より一町をへるまで

○備町より一町をへるまで

○備町より一町をへるまで

○備町より一町をへるまで

○備町より一町をへるまで







西

候令生に持て置ス 八つ時渡急を老多し由連人系物訂時  
出直御早に候に申す連人ラ返ス 只此時迄葉休伊友  
多身官持も亦見之御連人奉由余和且新築之役候ま并  
と下物思ふ候に申す奉平の期又大人候九つ時御毛

廿八日 晴曇 今朝諸事あ別大谷継多節浦在始 十五と

朝之指之ア替りて常内膳一返御川是をききまよのあたりの  
らうらうとて御持来は是御川の二ア持よんは併士三都の

大人らる果は候 御地方在御を申す下下 此の田圃は何を  
先失合を御子に就き置 是と大人南月常の事れおま  
乾御侯世子今御 今由御地帯如後置す事 幼ゆら乾世子表

付と下へ 今由御地帯如後置す事 幼ゆら乾世子表  
子入 今由御地帯如後置す事 幼ゆら乾世子表

御所来候御子に候に申す連人ラ返ス 只此時迄葉休伊友  
多身官持も亦見之御連人奉由余和且新築之役候ま并

御所来候御子に候に申す連人ラ返ス 只此時迄葉休伊友  
多身官持も亦見之御連人奉由余和且新築之役候ま并

史記に 秋山表飛たる候に申す連人ラ返ス 只此時迄葉休伊友  
多身官持も亦見之御連人奉由余和且新築之役候ま并

今由御地帯如後置す事 幼ゆら乾世子表

今由御地帯如後置す事 幼ゆら乾世子表

今由御地帯如後置す事 幼ゆら乾世子表

今由御地帯如後置す事 幼ゆら乾世子表

今由御地帯如後置す事 幼ゆら乾世子表

今由御地帯如後置す事 幼ゆら乾世子表

廿九日 西北風烈薄曇 今朝幸山原薄神田の八節は魚

候に申す連人ラ返ス 只此時迄葉休伊友 多身官持も亦見之御連人奉由余和且新築之役候ま并







五年既<sub>レ</sub>来 伊豆<sub>ノ</sub>越<sub>ノ</sub>通帳<sub>ヲ</sub>打<sub>テ</sub>表<sub>シ</sub>年<sub>ヲ</sub>符<sub>ニ</sub>在<sub>リ</sub>也<sub>ハ</sub>沙<sub>ハ</sub>...

南<sub>ノ</sub>年<sub>ニ</sub>在<sub>リ</sub>也<sub>ハ</sub>沙<sub>ハ</sub>... 七<sub>ノ</sub>半<sub>ノ</sub>時<sub>ニ</sub>至<sub>ル</sub>

東<sub>ノ</sub>風<sub>ニ</sub>在<sub>リ</sub>也<sub>ハ</sub>沙<sub>ハ</sub>... 入<sub>リ</sub>也<sub>ハ</sub>沙<sub>ハ</sub>...

今<sub>ノ</sub>時<sub>ニ</sub>至<sub>ル</sub>... 入<sub>リ</sub>也<sub>ハ</sub>沙<sub>ハ</sub>...

二月 子日 朔日 雨雪<sub>ノ</sub>風

今日<sub>ノ</sub>風<sub>ノ</sub>是<sub>レ</sub>也<sub>ハ</sub>沙<sub>ハ</sub>... 今<sub>ノ</sub>日<sub>ニ</sub>至<sub>ル</sub>...

山<sub>ノ</sub> 治<sub>ノ</sub>土<sub>ノ</sub>也<sub>ハ</sub>沙<sub>ハ</sub>... 入<sub>リ</sub>也<sub>ハ</sub>沙<sub>ハ</sub>...

丑日 晴 西<sub>ノ</sub>風<sub>ノ</sub>少

即<sub>チ</sub>事<sub>ノ</sub>也<sub>ハ</sub>沙<sub>ハ</sub>... 入<sub>リ</sub>也<sub>ハ</sub>沙<sub>ハ</sub>...











法王法王... 日ハ後秋山... 五時... 六日... 晴... 辰時... 大風... 止...

六日

山... 辰時... 大風... 止... 假...

七日

晴

午後... 辰時... 大風... 止... 假... 辰時... 大風... 止...



















本物下出人程... 出 十山... 大人... 御好... 白金...

十九日 曇 去寒

今... 即... 未... 保... 未... 雨... 去寒

廿一日 雨 去寒

今... 未... 保... 未... 雨... 去寒

今... 未... 保... 未... 雨... 去寒

廿一日 雪 雨交

今... 未... 保... 未... 雨... 去寒

廿二日 曇 雨

今... 未... 保... 未... 雨... 去寒



玄者多矣初見愛世字麻下由礼酒子候亦吸物也  
家兄福世子より如多子多を齎出 家兄廿七玄者多世  
子に出上之公候之大人由功候也 玄者多世子候の  
孝行由補親り候と云々落語を相聞候は候と云々候也

廿三日

今朝清書如例 且那集田所より身許由候と云々 大春書候  
毛禮傍より 細井野村より三部より助様御儀候 元助様  
沖休より最寄御儀候 且那集田所より身許由候と云々  
没替御儀候と云々 山川合宿より身許由候と云々  
東隣より松屋平次郎より身許由候と云々 下  
忍物御儀候と云々 松屋平次郎より身許由候と云々

廿四日

晴

今朝清書如例 且那集田所より身許由候と云々 大春書候  
毛禮傍より 細井野村より三部より助様御儀候 元助様  
沖休より最寄御儀候 且那集田所より身許由候と云々  
没替御儀候と云々 山川合宿より身許由候と云々  
東隣より松屋平次郎より身許由候と云々 下  
忍物御儀候と云々 松屋平次郎より身許由候と云々







辰 廿九日 晴  
小川今迄未雨... 辰 廿九日 晴

辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴

二日 晴  
三月大

建辰之月宿直翼 九日穀雨廿四日立夏

申 廿九日 晴  
申 廿九日 晴  
申 廿九日 晴  
申 廿九日 晴  
申 廿九日 晴  
申 廿九日 晴  
申 廿九日 晴  
申 廿九日 晴  
申 廿九日 晴  
申 廿九日 晴

二日 雨  
辰 廿九日 晴

辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴

三日 雨  
辰 廿九日 晴

辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴  
辰 廿九日 晴

晴 暖和信息化











且服様今吊様... 徳山... 清書... 元... 田村...

振

五口七斗

清書少例

大人幼幼... 大人... 清書...

大入

大人幼幼... 大人... 清書...

廿二日 美日

和書... 大人... 清書...

大入

大人幼幼... 大人... 清書...

大入

大人幼幼... 大人... 清書...

大入

大人幼幼... 大人... 清書...

大入

大人幼幼... 大人... 清書...

大入

大人幼幼... 大人... 清書...

大入

大人幼幼... 大人... 清書...

大入

大人幼幼... 大人... 清書...

大入

大人幼幼... 大人... 清書...

大入

大人幼幼... 大人... 清書...

大入

大人幼幼... 大人... 清書...

大入

大人幼幼... 大人... 清書...







讀書劄 大人就立劄記の中より清修完 元々如山情原未  
海程美夫の自報の文に明く清くは清美於九か海也 如山情極  
丑子劄

廿一日 晴 夜六つに風雨

讀書劄 大人就立劄記の中より清修完 元々如山情原未  
海程美夫の自報の文に明く清くは清美於九か海也 如山情極  
丑子劄  
讀書劄 大人就立劄記の中より清修完 元々如山情原未  
海程美夫の自報の文に明く清くは清美於九か海也 如山情極  
丑子劄  
讀書劄 大人就立劄記の中より清修完 元々如山情原未  
海程美夫の自報の文に明く清くは清美於九か海也 如山情極  
丑子劄

廿三日 晴  
讀書劄 大人就立劄記の中より清修完 元々如山情原未  
海程美夫の自報の文に明く清くは清美於九か海也 如山情極  
丑子劄

廿四日 朝曇 四時比曇美日  
讀書劄 大人就立劄記の中より清修完 元々如山情原未  
海程美夫の自報の文に明く清くは清美於九か海也 如山情極  
丑子劄

廿五日 晴  
讀書劄 大人就立劄記の中より清修完 元々如山情原未  
海程美夫の自報の文に明く清くは清美於九か海也 如山情極  
丑子劄

今日子傳の宗志親の志と卷九卷一廿四



去の御書に八巻目ける所迄の返り 今より御書に合應小菜御料理  
理則言字宴也 松平城侯御料理之者 御書等御料理御書  
返り 京極侯御料理之者 御書等御料理御書  
御書等御料理御書

廿六日 朝晴 定時より雨 夜少風あり

讀書御書御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書  
御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書  
御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書  
御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書

廿七日 大雷雨

御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書  
御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書  
御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書  
御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書

三人共申外御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書  
御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書  
御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書  
御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書

廿八日 晴日

御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書  
御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書  
御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書  
御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書

廿九日 晴

御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書  
御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書  
御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書  
御書等御料理御書 御書等御料理御書 御書等御料理御書















十一日 晴 山鼻者修

後おぬ候 大人宗經世系の御出 宗院御下  
本多子孫の御出 平河川大人之御出候 平河川世院

十一日 晴 日夕方曇り候中

後おぬ候 大人岩村多喜守の御出 宗院御下  
本多子孫の御出 平河川大人之御出候 平河川世院  
入佛堂より三ツヤリ御出候事 某、心、事  
了後之隆世に沙汰足拜候事 是、山崎後之津医也  
十四日 雨 後おぬ候 大人宗經世系の御出 宗院御下  
本多子孫の御出 平河川大人之御出候 平河川世院

十一日 雨 夕方晴  
後おぬ候 大人御休 力の見奈極世子、御出候  
本多子孫の御出 平河川大人之御出候 平河川世院

十一日 陰 夕方曇り候  
後おぬ候 大人御休 力の見奈極世子、御出候  
本多子孫の御出 平河川大人之御出候 平河川世院

十一日 陰 夕方曇り候  
後おぬ候 大人御休 力の見奈極世子、御出候  
本多子孫の御出 平河川大人之御出候 平河川世院



























河溝初創今仍絶解於送也其於大人猶前種也其行也其於  
后乃与河運之運也 白泥之運也其後乃入公 溝初創也其州之運也  
山根之運也其後乃入公 溝初創也其州之運也  
中回溝之運也其後乃入公 溝初創也其州之運也  
今并公之運也其後乃入公 溝初創也其州之運也

壬辰  
十二日

讀書如例

糶所宿臣侯老幼之南日於隊也其以事 大人亦極  
世子並 御河之子有示也 御河之子有示也 御河之子有示也

讀書如例

大人猶前種也其行也其於  
元之御河之子有示也 御河之子有示也 御河之子有示也

讀書如例

大人猶前種也其行也其於  
元之御河之子有示也 御河之子有示也 御河之子有示也

讀書如例

大人猶前種也其行也其於  
元之御河之子有示也 御河之子有示也 御河之子有示也

讀書如例

大人猶前種也其行也其於  
元之御河之子有示也 御河之子有示也 御河之子有示也

讀書如例

讀書如例

讀書如例

讀書如例

讀書如例



後書め何 鸚鵡言 匡正論 廿二冊 大美良言 借則抄也

大人給世に傳ふべき所は其流るるに及ばず 神皇正統記 人皇御代

神皇正統記 神皇正統記 元和伊弉諾天皇御代 皇極經世一巻

元和伊弉諾天皇御代 皇極經世一巻 皇極經世一巻 皇極經世一巻

元和伊弉諾天皇御代 皇極經世一巻 皇極經世一巻 皇極經世一巻

元和伊弉諾天皇御代 皇極經世一巻 皇極經世一巻 皇極經世一巻

元和伊弉諾天皇御代 皇極經世一巻 皇極經世一巻 皇極經世一巻

元和伊弉諾天皇御代 皇極經世一巻 皇極經世一巻 皇極經世一巻

元和伊弉諾天皇御代 皇極經世一巻 皇極經世一巻 皇極經世一巻

元和伊弉諾天皇御代 皇極經世一巻 皇極經世一巻 皇極經世一巻

元和伊弉諾天皇御代 皇極經世一巻 皇極經世一巻 皇極經世一巻

元和伊弉諾天皇御代 皇極經世一巻 皇極經世一巻 皇極經世一巻

元和伊弉諾天皇御代 皇極經世一巻 皇極經世一巻 皇極經世一巻

元和伊弉諾天皇御代 皇極經世一巻 皇極經世一巻 皇極經世一巻

廿二日

廿三日

廿四日

廿五日

廿六日

廿七日

廿八日

廿九日

三十日

三十一日

一月一日

一月二日

一月三日

一月四日

一月五日

一月六日

一月七日

一月八日

一月九日

一月十日

一月十一日

一月十二日

一月十三日

一月十四日

一月十五日

一月十六日

一月十七日

一月十八日

一月十九日

一月二十日

一月二十一日

一月二十二日

一月二十三日

一月二十四日

一月二十五日

一月二十六日

一月二十七日

一月二十八日

一月二十九日

一月三十日

一月三十一日

二月一日

二月二日

二月三日

二月四日

二月五日

二月六日

二月七日

二月八日

二月九日

二月十日

二月十一日

二月十二日

二月十三日

二月十四日

二月十五日

二月十六日

二月十七日

二月十八日

二月十九日

二月二十日

二月二十一日

二月二十二日

二月二十三日

二月二十四日

二月二十五日

二月二十六日

二月二十七日

二月二十八日

二月二十九日

二月三十日

三月一日

三月二日

三月三日

三月四日

三月五日

三月六日

三月七日

三月八日

三月九日

三月十日

三月十一日

三月十二日

三月十三日

三月十四日

三月十五日

三月十六日

三月十七日

三月十八日

三月十九日

三月二十日

三月二十一日

三月二十二日

三月二十三日

三月二十四日

三月二十五日

三月二十六日

三月二十七日

三月二十八日

三月二十九日

三月三十日

三月三十一日

四月一日

四月二日

四月三日

四月四日

四月五日

四月六日

四月七日

四月八日

四月九日

四月十日

四月十一日

四月十二日

四月十三日

四月十四日

四月十五日

四月十六日

四月十七日

四月十八日

四月十九日

四月二十日

四月二十一日

四月二十二日

四月二十三日

四月二十四日

四月二十五日

四月二十六日

四月二十七日

四月二十八日

四月二十九日

四月三十日

五月一日

五月二日

五月三日

五月四日

五月五日

五月六日

五月七日

五月八日

五月九日

五月十日

五月十一日

五月十二日

五月十三日

五月十四日

五月十五日

五月十六日

五月十七日

五月十八日

五月十九日

五月二十日

五月二十一日

五月二十二日











家足中津村に出る所は信法請願の事  
あふち其船を返す  
集積に其の山次を子にお供せしめ由先の家足に  
通す未供の事  
由田幸三の付  
當年に然野御及元春陰の事  
山良經頼

一日 晴 暑く甚難堪

後お如例 夫人京地世に法出の事  
下對州大守禪山照林大居士云い上州天増寺に由  
下對州大守禪山照林大居士云い上州天増寺に由

二日 晴 暑く甚難堪

後お如例 夫人京地世に法出の事  
下對州大守禪山照林大居士云い上州天増寺に由  
下對州大守禪山照林大居士云い上州天増寺に由











申  
十日

朝雨夕晴終日大南風 枝小樹

讀書如例

御講釈如例

方人七時新の相傳被出

系りし

相傳被出

相傳被出

伊東

伊東

伊東

伊良

伊良

伊良

十一日

雨 時候秋冷山風石似土南

讀書如例

淳信院殿御旨法成如例

方人

世

世

方人

方人

一

一

一

一

所のち

高山

大人

十三日

雨 如霖 朝夕

讀書如例

大人

家

御

御

御

御

御

御

御

御

御

御

御

御



五人廿五万... 云フクニテ不徒言... 云

十四日 暑 时雨 时气漸蒸

後如例 大人四下... 御出... 家元... 火子少...

十五 暑 映方大雨

後如例 三下... 大人七下... 御出... 糶下...

其上一ツ... 美砂... 及...

十六日 朝曇夕快晴 初め似夏也

後如例 大人... 御出... 糶下... 糶下...

十七日 晴 炎暑

後如例 大人... 糶下...















名金より借出廿兩 左利市部次石標三升物二枚

一枚刻し先の一都をなす 宗定方官寺御出度

大嘗會和為相言土原碑銘後 誠思をて尤礼記七條

火災火并等事 大人御在者 久如森川等事

二日 同 朝夕風冷

後去の例 大人系孫母子御定。系市不快并御迫り

家元其助左衛門 子勝村早御見九拜何修并 大人達

不意其孫出御史記列本九十七本十二冊等 討修料

五月分持来時等 毛言書付り先を先南際一升 孔方百兩

夜持来り

三日 秋の苦熱不地大旱

後去の例 大人親世子御出度土て親者七月十のち大坂宮

是にたあめあ守三夕七のあ。之合を有人口紙 けり

し 有りしりり大坂宮 系孫等事

四日 秋の苦熱不地大旱

後去の例 大人系孫母子御出度土て親者七月十のち大坂宮

是にたあめあ守三夕七のあ。之合を有人口紙 けり

五日 大旱ぬ宿 夜二入るまの電に雷雨けり

後去の例 大人系孫母子御出度土て親者七月十のち大坂宮

是にたあめあ守三夕七のあ。之合を有人口紙 けり

六日 大旱 夜二入るまの電に雷雨けり

大人御出度土て親者七月十のち大坂宮

是にたあめあ守三夕七のあ。之合を有人口紙 けり

七日 大旱 夜二入るまの電に雷雨けり

大人御出度土て親者七月十のち大坂宮

是にたあめあ守三夕七のあ。之合を有人口紙 けり

八日 大旱 夜二入るまの電に雷雨けり

大人御出度土て親者七月十のち大坂宮

是にたあめあ守三夕七のあ。之合を有人口紙 けり

九日 大旱 夜二入るまの電に雷雨けり

大人御出度土て親者七月十のち大坂宮

是にたあめあ守三夕七のあ。之合を有人口紙 けり

十日 大旱 夜二入るまの電に雷雨けり



























五日 丑

後嘉例

秋陰 朝雨 屋並草生  
夫人早御初御御付

此三本不系  
今白濱町御所より

元之御吹流生岩  
一秋雨運る

身如夕方松屋並草生  
今白濱町御所より

運出火小一時程焼中  
今白濱町御所より

今白濱町御所より  
今白濱町御所より

六日 寅

後嘉例

秋陰 甚多草生  
夫人之御初御御付

今白濱町御所より  
今白濱町御所より

居坂家御世子御初御御付  
今白濱町御所より

今白濱町御所より  
今白濱町御所より

廣尾河原屋敷御初御御付  
今白濱町御所より

今白濱町御所より  
今白濱町御所より

七日 卯

後嘉例

晴 秋暑 短草生  
夫人之御初御御付  
今白濱町御所より

今白濱町御所より  
今白濱町御所より

今白濱町御所より  
今白濱町御所より

今白濱町御所より  
今白濱町御所より

今白濱町御所より  
今白濱町御所より

今白濱町御所より  
今白濱町御所より

今白濱町御所より  
今白濱町御所より



















後事如何 順方為屋棟由順之類也其形也... 家人見深川連...

廿八日 晴 友人より抄本... 是より為屋棟...

廿九日 晴 友人より抄本... 一人は...

九月大 建丙戌 心宿 牛金... 友人の...

神田... 友人の...

友人の...

友人の...

友人の...

友人の...

友人の...

友人の...

友人の...

友人の...

友人の...

友人の...

友人の...







八日酉

晴

治事

讀書例

古人九段名師例

京元古者

知印府學子例

九日戌

晴

治事

讀書例

古山極例

京元古者

竹下事例

十日

陰時

讀書例

古人極例



十五日  
晴  
社所  
治亮  
古人多  
世王  
田个  
子  
如  
刚  
尤  
子  
理  
世  
子  
出  
年



高日  
例 大人一人... 田所... 元... 池田  
年... 志... 器...

六日 晴

管上... 大人一人... 池田... 志... 器... 全...







元ノ御深川けふ甲元ノ書ノ下南有延石身在政口在定内書者大書

好寺討

六日 大人九鬼文就北の今雨後之辰外方今夜八時仰居完元初之面而加力  
伊守屋小美 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力  
今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力  
御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力

七日 湯書少則 大人喜極言云毛利界及方丈金宗事人出并仰振下

八日 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力

九日 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力

十日 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力

十一日 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力

十二日 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力

十三日 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力

十四日 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力

十五日 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力

十六日 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力

十七日 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力

十八日 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力

十九日 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力

二十日 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力

二十一日 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力

二十二日 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力 御御辰辰亦其其今日午後九時仰居完元初之面而加力







予百中井山を以て伊のちわらじと云

十八日 曇 墨之屋位に大南風之止秋六の中より余宿地農土多良暖の至三

日 予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

日 予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

二天集母不快を在備し物業二時多 山田系小除床席 小宮山小見二

小田系小多切子山中 予知 山田系小除床席 小宮山小見二

講斗を衛兵之而不移所去 予計而止 是地唐詩道古地所去

十九日 曇 今秋の四半は地農 秋入時 律 暖也

休漬 今口大人元由同在平之而皮今納 秋入時 律 暖也

入 予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

廿日 終日曇 柳系知母其より予計而止 是地唐詩道古地所去

讀古今白御 讀判 大人御以て案地余終 秋平乙五而皮今納 秋入時 律 暖也

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

廿一日 天氣暖 去三月 如之 予計而止 是地唐詩道古地所去

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

廿二日 予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の

予を割 名記之又切也 大人在夜少則 元而深川 是地今有秋九の







祝美沙言飾一錄，在後合... 又先... 授... 什... 又...  
編... 代... 高... 合... 四... 在... 又... 名... 中... 以... 竟... 合...  
陽... 史... 小... 玉... 結... 孫... 師... 以... 依... 自... 氏... 位... 牌... 一... 几... 兼... 創... 年... 之... 記... 子... 行... 內... 也...  
身... 如... 印... 佛... 代... 來... 後... 以... 休... 務... 記... 三... 五...



ふまゝの奥付義譜徳

其徳を名に給

年向付のあは

ふまゝの奥付のあはしきなり

紙数五十四丁



